

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔整実技 I	実技	1	前期中期	2	段 糧丞

授業概要	人体の構造や、機能を理解するために、骨および軟部組織の触察方法を習得する。 触察は柔道整復師として基本的な技術であり、必須習得科目である。 技術を学ぶと同時に、医療人として患者への接し方や礼儀も併せて学習する。
到達目標	骨模型上での各骨部位名及び各関節名と位置の理解。 人体上では、主な骨のランドマークの位置と触察方法の取得。
成績評価	中間試験および期末試験(実技試験)で評価
実務経験	整骨院での臨床経験から現場での知識を交えて伝える。

前期	講義内容
1	オリエンテーション(実技室での作法、骨の触り方、諸注意) 全身骨格の触察
2	肩甲骨の触察(背面から:内側縁、外側縁、上縁、下角、上角、肩甲棘、肩峰)
3	肩甲骨、鎖骨の触察 (前面から肩峰、烏口突起、肩鎖関節、鎖骨外端、内端、胸鎖関節、頸切痕)
4	上腕骨近位の触診 (上腕骨頭、肩関節、大結節、小結節、結節間溝、大結節稜、小結節稜、三角筋粗面)
5	上腕骨遠位、橈骨・尺骨近位の触察 (外側上顆、内側上顆、橈骨頭、肘頭、肘窩、肘頭窩、肘関節)
6	橈骨・尺骨遠位、手根骨の触察 (茎状突起、橈尺関節、手根骨、橈骨手根関節)
7	手の骨の触察(手根骨、中手骨、手指骨、指節骨、MP関節、IP関節)
8	中間試験に向けての総復習(上肢全体の触察)
9	中間試験 範囲:上肢
10	寛骨の触察(腸骨稜、上前腸骨棘、上後腸骨棘、仙腸関節、坐骨結節、恥骨結合)
11	大腿骨、膝蓋骨の触察(大転子、外側上顆、内側上顆、膝蓋骨底、膝蓋骨尖、膝蓋靭帯)
12	下腿骨の触察(外側顆、内側顆、膝関節、膝の裂隙、腓骨頭、外果、内果)
13	足根骨、中足骨、足指骨の触察(踵骨隆起、距骨滑車、載距突起、舟状骨結節、立方骨、第5中足骨)
14	期末試験に向けての復習(上肢、下肢全体の触察)
15	期末試験(骨模型での部位特定と学生同士での触察) 範囲:上肢、下肢
16	解説授業

使用教材	教科書「解剖学:医歯薬出版」 全身骨格模型
------	--------------------------

中期	講義内容
1	オリエンテーション、包帯の基礎説明、環行帯のデモンストレーション
2	前腕の包帯①(折転帯)
3	前腕の包帯②(折転帯)
4	前腕の包帯③(折転帯)
5	手部の包帯①(手部麦穂帯)
6	手部の包帯②(手部麦穂帯)
7	総練習
8	中間試験
9	手指部の包帯①(隻指帯、全指帯)
10	手指部の包帯②(指頭包裹帯:単指)
11	手指部の包帯③(指頭包裹帯:2.3指)
12	手指部の包帯④(指頭包裹帯:3.4指)
13	手指部の包帯⑤(指頭包裹帯:4.5指)
14	総復習
15	期末試験
16	解説授業、シーネを用いての固定包帯(手指部)

使用教材	解剖学(医歯薬出版)、包帯固定学(医歯薬出版) 全身骨格模型
------	-----------------------------------